令和４年度指定管理者モニタリングレポート
（指定管理者の管理運営業務評価結果）

施　設　名	宇部市アクトビレッジおの
所　在　地	宇部市大字小野字大日原７０２５番地
所　管　課	北部総合支所　北部地域振興課

指定管理者	名　称　アクトビレッジおの共同事業体
	所在地　下関市貴船町二丁目１４番２８号
	代表者　株式会社ＦＥＥＬ　代表取締役　井 上　　桂
指定期間	令和３年４月１日　～　令和８年３月３１日

１　業務の履行状況の確認・評価

○　適正な施設管理・運営が行われたか。	評価結果
【運営業務】 基本協定書、仕様書等に基づいて適切に施設運営が行われている。 【維持管理業務】 施設については、設備点検や清掃業務、植栽など適切に維持管理されている。施設の修繕については随時北部地域振興課と協議を行い、利用者の利便性向上を図るとともに、植栽にも積極的に取り組んでおり、来園者増に向けた施設管理に努めている。 【事業（提案事業・自主事業）】 提案事業として市内の小学校を対象とした環境学習を継続して実施しており、小学生にも好評である。今年度もコロナ禍の影響により、状況に応じた調整が必要だったが、可能な限り日程調整を行い、可能でなくても代替措置がとれるよう柔軟に取り組んでいた。	A

２　サービスの質の評価

○　利用者サービスの水準確保の向上が図られたか。	評価結果
【利用者アンケート】 ①　調査の概要（調査対象、調査時期、調査方法、回答状況） ・調査対象：施設利用者 ・調査期間：令和４年４月１日～令和５年３月３１日まで ・調査方法：アンケートへの回答を依頼し、実施した ・回答状況：１４７人 ②　アンケート結果の概要（利用者の満足度等） アンケート結果内容を集計したところ、全体的に肯定的なものが多く、利用料金や講座・イベントも含め総合的な満足度は高かった。 また、利用者の意見・要望についても、積極的に施設の管理運営に反映させる取り組みがなされており、苦情対応についても適切に対応がなされている。	A

【総合コメント】 講座・イベントの開催制限が少しずつ緩和に伴い、令和４年度の来園者実数は23,793人で、令和３年度の来園者実数15,011人と比較すると増加した。令和４年度は交流ボート大会が復活し地元民との交流が促進されるなど、今後も利用者サービスの向上と地域密着型施設の運営に役立つものとなると考えられる。	

３　サービス提供の継続性・安定性の評価

○　適正な収支実績のもとで、継続的・安定的にサービス提供が実施されているか。	評価結果
コロナ禍の影響もあったが、施設の利用率の向上と草刈り作業を地元住民に依頼する等の企業努力により、当初計画より収入増となった。地元の子ども会などが合宿を再開するようになり、地域住民が地元の施設に関わる機運が高まった。 また、利用率の高まりによる収益増を利用者目線のサービス運営に努められた結果、利用者アンケートは概ね好評な結果となった。	B

４　民間ノウハウの注入による加点すべき取組の評価

○　民間ノウハウの注入により、施設の設置目的の増進につながる取組が実施されているか。	評価結果
アクトビレッジおのは市内においては北部に位置しているが、県内においては中央に近い場所にあり、また、新幹線（新山口駅）や山口宇部空港からのアクセスなど潜在的な交通の利便性があることから、指定管理者はそれらをアピールした営業・広報戦略を展開し、結果、地域の利用だけでなく、市外・県外からの利用者が比較的多く、来園者数の増という結果に結びつけていた。来園者の施設の快適な利用のために案内板を増やす等の配慮が多くみられ、利用者アンケートにおいても職員の親切な対応に感謝する声が多くあり、利用者の満足度は高いといえる。今後は、民間ならではの広報活動や営業戦略により、より一層の継続的かつ安定的な利用者サービスに努めていただきたい。	３

５　総合結果

○　モニタリング内容の総括（評価の理由）	総合評価
条例・規則、協定書を遵守し、業務仕様書の内容にのっとり業務を推進しており、教育委員会との連絡調整についても密接に行っている。また、問題が生じれば、迅速な協議を行っている。 小学生対象の自然体験環境学習は概ね好評であり、カヌー体験や施設内のハーブを活用した教室の実施等により来園者の増加に取り組んでいる。 アンケートによる利用者の感想においても肯定的な意見が多く、受付の対応、施設の利便性・安全性などについて利用者の満足度が高いなどおおむね適正な運営がなされている。	B

■評価基準

Ｓ（　秀　）　協定書等の基準を遵守し、その水準を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた。

Ａ（　優　）　協定書等の基準を遵守し、その水準を十分に達成した。

Ｂ（標　準）　協定書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿った内容である。

Ｃ（課題含）　協定書等の基準を概ね遵守しているが、内容の一部に課題がある。

Ｄ（要改善）　協定書等の基準が遵守されておらず、改善が必要な内容である。

※　参考資料（別添）

１　収支の状況

２　施設利用者数

３　施設稼働率（利用率）

モニタリングレポート（参　考　資　料）

施設名　　アクトビレッジおの

①　収支の状況

項　目		予算額（千円）（事業計画）	決算額（千円）（事業報告）	差　額	適 否 等 検 証（計画・目的達成度など）
収入	指定管理料	22,022	22,022	0	
	利用料金	3,900	4,702	802	キャンプ場利用者が予想より増
	事業収入	1,180	1,046	△ 134	講座回数が予想より減
	その他収入	719	870	151	自動販売機収入等869,660円
				0	
	収入計（ａ）	27,821	28,640	819	
支出	人件費	13,206	15,715	2,509	
	施設維持管理費	9,627	7,930	△ 1,697	業務委託の減
	修繕費	839	789	△ 50	
	事業費	2,624	1,678	△ 946	
	その他支出	1,400	1,890	490	
	支出計（ｂ）	27,696	28,002	306	
収支	（ａ）－（ｂ）	125	638	513	

※　施設利用者数（年度比）　　単位：人

施設名	指定期間前年度			R3			R4			R5			R6			R7			指定期間前の年度との比較
	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	計	
研修室	179	916	1,095	1,226	2,074	3,300	5,389	4,566	9,955			0			0			0	909%
研究活動室	51	149	200	292	279	571	3,925	1,521	5,446			0			0			0	2723%
調理室	113	513	626	1,312	871	2,183	4,324	608	4,932			0			0			0	788%
木工室	0	465	465	771	703	1,474	3,808	603	4,411			0			0			0	949%
アリーナ	1,512	3,477	4,989	3,089	3,223	6,312	5,726	8,397	14,123			0			0			0	283%
和室	192	444	636	1,007	610	1,617	878	706	1,584			0			0			0	249%
キャンプ場	939	2,026	2,965	1,928	2,236	4,164	2,745	8,288	11,033			0			0			0	372%

※　施設稼働率（利用率）　　単位：％

施設名	指定期間前年度			R3			R4			R5			R6			R7			指定期間前の年度との比較
	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	計	前期	後期	計	
研修室	4.6	11.7	8.2	12.8	12.7	12.7	22.6	15.7	19.2										234%
研究活動室	1.9	4.4	3.15	8.9	10.4	9.6	13.1	28.5	23.3										740%
調理室	3.8	5.8	4.8	10.5	5.1	7.8	13.1	6.5	9.8										204%
木工室	0	8.1	4.05	7.7	4.0	5.8	7.4	3.0	5.2										128%
アリーナ	18	28.8	23.4	31.6	26.0	28.8	27.2	32.3	29.8										127%
和室	5.6	5.2	5.4	9.6	4.9	7.2	6.7	7.0	6.9										128%
キャンプ場																			

※キャンプ場は算定不能のため除外としている。